



中山小学校

中山地区新任職員紹介



5月1日現在の中山

世帯数 1,362  
人口 3,208

【問い合わせ】  
中山公民館報編集委員会  
58-5822

木口 奈津美 先生  
(専科担当)

関 瑞穂 先生  
(5年生担任)

青木 和英  
教頭先生

宮田 恭子  
校長先生

片桐 いずみ 先生  
(事務担当)

山崎 絵美 先生  
(2年生担任)



川村 侑平 先生



高橋 楓 先生

中山児童センター



桑田 幸奈 先生

小河原 仁志 先生

中山保育園



松井 睦子 職員

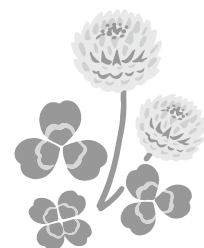


奥原 裕樹 主任

中山地区  
地域づくりセンター



加藤 八重子 先生 (つどいの広場担当)



令和3年度は、中山地区に計15名の新任職員が配属されました。  
「子どもも大人も安心して、いきいきと暮らせる、住みよい中山地区」を目指し、全職員が連携し、地域のために力を尽くしていきたいと思えます。  
今後、様々な事業で地域の皆さまよりお力をいただき、どうぞよろしくお願いたします。

【中山地区生活支援員】



中山 千恵 さん

【中山地区福祉ひろば】



畠山 定子 さん

# 令和2年度の 公民館事業を振り返る

令和2年度は新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、年度当初の4月から5月下旬までの間、また年明け1月から2月上旬までの間、それぞれ貸館が休止となりました。

しかし、公民館は大きな役割のひとつに「地域の学習の場」を掲げており、地域の学びを止めないといけないの思いから、講師の皆さんと協議し、新型コロナウイルスに対して十分な感染防止策を講じた上で、いくつかの講座を実施することができました。

今回は、その中でも7月に実施した「歴史講座」、11月より実施している「木工講座」、令和3年1月より実施している「ウクレレ講座」の3つをご紹介します。

## 歴史講座

当初4月に実施予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止上、公共施設の使用が出来なかったため、実施時期を7月に延期し行われました。

郷土の歴史家である中島経夫先生を講師としてお招きし、3回の連続講座として講義をいただきました。

多くの名所旧跡に囲まれている中山地区の皆さんは、歴史に非常に関心が高く、毎回20名前後の受講者が集まり、ユーモアを交えて説明する中島先生の歴史観、考察に皆さん熱心に耳を傾けていました。



## 木工講座

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、不要不急の外出は控え、ステイホームが叫ばれる中、鈴木館長の家具職人としてのノウハウを大いに活かし、身の回りの家具の補修やものづくりに対して親しみを持ってもらおう、とのことで木工講座は始まりました。



初回は全員でカッティングボードを作り、2回目以降は参加者が各自作りたいものを図面から起こして作っています。

参加された皆さんは和気あいあいとした雰囲気ながらも、それぞれ真剣な顔つきで、ものづくりに取り組んでいる様子がとても印象的でした。

## ウクレレ講座

木工講座と同様、ステイホーム中のおうち時間を豊かに過ごしていただくことを目的に、現在全国的にもブームにもなっているウクレレの講座をはじめました。



これまで全く楽器に触れて来なかった初心者が多いですが、音合わせ(チューニング)の仕方からスタートし、毎回一曲を演奏できるだけの腕前になって皆さん満足そうに帰っていきます。

## 中山公民館より

今後「地域の学習の場」として、皆さんに公民館を活用していただくために、館長、主事は公民館講座を企画していきます。

地域の皆さんも、「こういう事が学べたらいいのだけども」、「こういう集まり(サークル)を作りたい」、と言ったご要望をぜひお気軽に公民館にお寄せください。

## 伏見



それは昨年、夏も終わりに近くなったある早朝。私は燕の雛達が軒先の電線から訓練に飛び立つのを、少し離れて見守っていた。すると、別の鳥が一羽スツと飛んで来て電線の端にとまった。何気なく視線を移した私は自分の眼を疑った。「まさか!」

しかし、体の割に大きな嘴、特徴ある体形、紛れもなくそれはカワセミだった。中山にカワセミが居る!?瞬間、私は母が生前言った事を思い出した『以前この辺にもカワセミが居たよ綺麗な鳥でね』

そうか今でも中山の何処かに住んでいるんだ。大きな驚きだった。それから私は青鷺対策として張った庭の池の網を、カワセミが通り抜けられるものに替えた。(F・O)

